

**令和4年度
徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会**

日時: 令和5年3月28日(火)
午後1時30分から
場所: 徳島グランヴィリオホテル 2階
「福寿」

1 開 会

2 あいさつ

3 議事内容

- 1) ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全推進事業の概要について
- 2) 令和4年度の事業経過について
- 3) 令和5年度の事業計画について
- 4) 意見交換
- 5) その他

4 閉 会

農林水産部 農山漁村振興課

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会について

開催目的

中山間地域、棚田地域における農地保全や農業・農村の活性化を目的に実施している「ふるさと・水と土保全事業」について、評価や助言をいただき、事業のさらなる拡充、推進を図る。

徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会

評価

意見

評価

意見

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 (ふる水基金)

【事業目的】

- 中山間地域における土地改良施設及びこれと一体的に保全する事が必要な農地の有する多面的機能を維持
- 住民活動による土地改良施設等の保全・利活用により中山間地域を活性化

【事業対象地域】

- 過疎地域持続的発展特別措置法、山村振興法、離島振興法、半島振興法、特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律において、指定及び規定された地域

※対象市町村：県内16市町村
鳴門市、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、佐那河内村、神山町、勝浦町、上勝町、那賀町、美波町、牟岐町、海陽町、つるぎ町、東みよし町

【事業内容】

●調査研究事業

地域住民活動を通じた、土地改良施設や農地の機能の強化・保全に関する基本的対策等の作成及びこれに要する調査

●研修事業

住民活動のリーダーとなる「ふるさと水と土指導員」の育成に 寄与する研修の実施・派遣

●推進事業

事業を進めるのに必要な啓発普及活動、広報資料の作成、配布、各種イベントの開催

中山間ふるさと・水と土保全推進事業 (棚田基金)

【事業目的】

- 棚田などの多面的機能の良好な保全と都市住民も交えた継続的な地域住民活動の推進
- 保全活動を行う集落組織等の育成・支援

【事業対象地域】

自然傾斜を緩和した農地が階段状に分布しており、勾配1/20以上の農地の面積が当該地域の全農地の面積の1/2以上を占める地域

※県内棚田箇所数：75カ所

【事業内容】

●保全ネットワーク推進事業

都市住民等の保全活動への参加促進を図るための事業

●保全活動推進事業

住民組織が行う保全活動の推進を図るために実施する事

●保全活動支援事業

集落協定に基づいて実施される棚田などの保全活動や利活用に対して経費等の助成を行う。

効果

<ふる水基金>

- 地域リーダーを中心とした「個性ある地域づくり」に取り組む体制の整備
- 農業生産等の協働活動を通じて、中山間地域の多面的機能を維持
- 新たなコミュニティ活動の展開による地域の活性化

<棚田基金>

- 地域住民活動の活性化により、都市住民等を巻き込んだ活動参加ネットワークの構築
- 地域住民活動を推進する人材育成による活動の活性化
- 施設や農地の保全・利活用活動等への継続した支援実施による多面的機能の発揮

1 ふるさと水と土保全対策事業及びふるさと水と土保全
推進事業の概要について

中山間ふるさと・水と土保全対策事業（ふる水基金）について

1) 対策の目的

中山間地域の多くの集落では過疎化や高齢化が進み、後継者不足や耕作放棄地の増加、地域コミュニティの低下など様々な課題に直面しており、農業生産と併せて国土保全や自然・文化の伝承など、農山村が持つ多面的機能は低下の一途をたどっています。

ふるさと・水と土保全対策では中山間地域を中心として、農地や土地改良施設等の利活用や地域コミュニティ活動の活性化を図るため、地域における活性化を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の促進を目的として、平成5年度に創設されました。

2) 対策の概要

本対策は、「中山間ふるさと・水と土保全対策事業（徳島県基金）」と市町村単独事業（市町村基金）によって、地域住民による組織づくりや保全活動等を推進しています。

3) 徳島県での基金の状況

中山間ふるさと水と土保全対策事業

672,000千円 国費1/3 県費2/3

平成5年度から平成9年度にかけて造成

中山間ふるさと・水と土保全推進事業（棚田基金）について

1) 対策の目的

棚田が耕作放棄され多面的機能が発揮されなくなることによって、鳥獣害や土砂災害、洪水など周辺地域や下流地域に悪影響を与えることが懸念されています。

このため、棚田地域などを対象として、平成10年度から農地などの保全や利活用を行う地域住民活動に対し「中山間ふるさと・水と土保全推進事業」によって支援を実施しています。

2) 対策の概要

本対策では、都市住民との交流や景観形成にも役立てながら保全活動を推進するとともに、保全活動に必要な組織づくり、人材育成等も支援しています。

3) 徳島県での基金の状況

○棚田基金 中山間ふるさと水と土保全推進事業

630,000千円 国費1/3 県費2/3

平成10年度から平成12年度にかけて造成

2 令和4年度の事業経過について

令和4年度事業経過

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	事業内容	実績額(見込み)
			(円)
(1)調査研究 事業費			3,000,000
	ア 中山間むらづくり調査事業	中山間地域の土地改良施設や農地を整備・保全するために必要な基礎調査を行う。	3,000,000
(2)研修事業			435,000
	ア ふるさと水と土指導員 全国研修派遣	ふるさと水と土基金全国研修会に指導員候補者を派遣し、指導員を育成する。	0
	イ ふるさと水と土指導員県内研修	県内研修会を開催し、新たな地域づくりの手法や指導員間の情報交換を実施し指導員を育成する。	435,000
			7,772,000
	ア ふるさと水と土保全対策懇話会	保全対策の内容を評価し、その意義を広く県民に対し周知する。	137,000
	イ 農林漁業体験推進事業	中山間地域の価値を地域住民自ら再認識し、地域資源として活用することで、都市部住民との交流・普及啓発につなげる。	773,000
	ウ 鳥獣被害予防推進事業	鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援した。	2,260,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村 (ふるさと)元気づくり事業	地域リーダーの育成、住民によるビジョンの策定からその実現までの支援、協働活動における関係人口の拡大、各団体間の情報共有の場の創出と情報発信を行うことにより、地域が持つ「魅力」や「価値」のさらなる向上を図る。	4,172,000
(3)推進事業			
	エ (うち) 徳島県ふるさと水と土 指導員活動支援事業	ふるさと水と土指導員が棚田地域等において企画・実践する環境保全活動、交流活動等を推進し、土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資する。	(357,000)
	オ (うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	中山間地域において「ビジョン」の策定から早期実現を「パッケージ」として支援し、地域の魅力向上や住民の課題解決力の向上を図る。	(1,840,000)
	カ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	地域に社会貢献したいという志を持つ都市部の大学・企業・NPOと協働パートナー協定を結び、農山漁村地域の要請に応じて応援活動を展開する。	(1,735,000)
	キ (うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立し、各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や活動状況を発信する。	(240,000)
	ク 啓発推進事業	中山間地域の多面的機能を地域住民及び県民に周知し、保全対策の必要性をPRする。	430,000
合 計			11,207,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	事業内容	予算額
			(円)
			4,172,000
(1)保全ネット ワーク推進 事業			
	棚田地域等保全対策事業費	棚田地域への理解促進を図る。	477,000
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	3,695,000
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) 応援し隊事業	上記と同様。	(3,165,000)
	(うち) とくしま農山漁村(ふるさと) ネットワーク事業	上記と同様。	(530,000)
			1,850,000
(2)保全活動 推進事業			
	未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと) 元気づくり事業	上記と同様。	1,850,000
	(うち) ふるさと水と土指導員活動 支援事業	上記と同様。	(300,000)
	(うち) あわの農山漁村(ふるさと) 魅力創生事業	上記と同様。	(1,550,000)
合 計			6,022,000

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

(1) 調査研究事業

ア 中山間むらづくり調査事業

本県の中山間地域は、本県の農業の重要な地位を占めている。しかしながら、耕作者の高齢化や後継者不足により、農業生産基盤の整備が実施されていない地域では、農作業効率が悪く離農による耕作放棄地の増加が懸念されている。中山間地域の優良農地を保全し継承するためにも、効率的な営農を可能とする農業生産基盤整備が急務であり、この計画検討に向けた調査を行った。

また、中山間地域では、農地・里山・水路等の多様な自然が存在し、身近な動植物、田園空間が残されている。これらの豊かな環境を次世代に継承するためにも、環境との調和に配慮した農業農村整備が求められている。このことから、田園環境の保全に資するため必要な環境調査を行った。



調査計画



調査計画



環境調査

◆ 調査結果及び今後の取組

	調査名	調査結果	今後の取組方針
	地区名		
調査計画	江野島 (阿南市)	現地踏査等により、優良農地の保全・農作業の効率化を図る区画整理事業の計画検討を実施した。	本調査での検討結果を活用し、中山間地域における農業の活性化及び優良農地の保全を考慮した事業計画書の作成に努める。
環境調査	八幡 (阿南市)	地区内の環境調査を行い、環境に配慮した工法検討を行った。	本調査で得られた知見を事業実施段階において、適切に実践することで、環境に配慮した土地改良事業の展開に努める。

◆ 次年度の調査計画

	調査名	調査内容
	地区名	
環境調査	江野島 (阿南市)	農業生産条件に不利のある中山間地域において、生産基盤整備を行い、中山間地域の活性化や農業振興を目的とした事業計画策定に必要な環境調査を実施する。

(2) 研修事業

ア ふるさと水と土指導員全国研修会派遣

例年、ふるさと水と土指導員として任命予定者を、ふるさと水と土基金全国研修に派遣している。

本年度は、令和5年1月23日・24日に東京都の会場とオンラインで実施された。

新型コロナウイルスの影響により、研修会に参加出来ていなかった2名がオンラインで受講した。



全国研修への参加の様子

イ ふるさと水と土指導員県内研修会

日時：令和5年3月29日（水）
 場所：徳島市アスティとくしま
 内容
 (1) 指導員活動事例発表
 (2) 意見交換
 など



ふるさと水と土指導員研修会

(3) 推進事業

ア ふるさと水と土保全対策懇話会

毎年1回開催し、保全対策の内容を評価し、広く県民に周知する。

日時：令和5年3月28日（火）
 場所：徳島市 徳島グランヴィリオホテル



ふるさと水と土保全懇話会

イ 農林漁業体験推進事業

四国グリーン・ツーリズム推進協議会において、キャンペーン実施による農林漁業体験施設等のPRや四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会を実施した。

また、SNS等を活用した定期的な情報発信を行った。

【取組内容】

①4県連携キャンペーン「思いっきり四国！88癒やしの旅。」

期間：令和4年8月1日～令和5年1月9日

内容：施設利用者が体験内容をInstagramに投稿するか、アンケートに答えて応募し、88名に特産品をプレゼント

応募者数：529人

主な来県者：兵庫県、東京都、大阪府、愛媛県、香川県など

②「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」の実施

日時：令和4年10月14日

場所：モンベルアウトドアヴィレッジ本山（高知県）

内容：コロナ禍における地域素材を生かした体験提供の取組等について研修を行うことで、四国4県のグリーン・ツーリズム実践者のスキルアップを図る。

③SNS等を活用した定期的な情報発信

内容：各県のグリーン・ツーリズム施設等を取材、投稿を行う。あわせて、各県担当による投稿も行う。

投稿数：80回程度

（取材による投稿40回程度、各県の投稿40回）



「四国4県グリーン・ツーリズム実践者交流研修会」



「思いっきり四国！88癒やしの旅。」応募写真

農林漁家民宿の登録状況（累計）

年度	登録実績（累計）
平成20年度	4戸（4戸）
平成21年度	2戸（6戸）
平成22年度	2戸（8戸）
平成23年度	7戸（15戸）
平成24年度	2戸（17戸）
平成25年度	13戸（30戸）
平成26年度	3戸（33戸）
平成27年度	4戸（37戸）
平成28年度	5戸（42戸）
平成29年度	9戸（51戸）
平成30年度	11戸（62戸）
令和元年度	5戸（67戸）
令和2年度	0戸（67戸）
令和3年度	0戸（67戸）
令和4年度	1戸（68戸）



農家民宿の状況

ウ 鳥獣被害予防推進事業

鳥獣被害の軽減を図るため、総合的な鳥獣被害対策を実施する「被害ゼロ集落」の育成、モンキードッグの導入を支援した。

【取組内容】

- ①被害ゼロ集落の育成 6市町 6地区
 本事業で実施した主な地区
- ・三好市（井川町色原・大西地区）サル追い払い活動研修会
 - ・東みよし町（内野地区）放任果樹の伐採による生息環境管理活動の実施
 - ・牟岐町（笹見地区）電気柵によるサルの効果的な防護対策研修会
 - ・海陽町（日比原地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
 - ・鳴門市（大麻町堀江地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会
 - ・鳴門市（大麻町板東地区）サル用大型捕獲檻による捕獲対策研修会

- ②モンキードッグの導入支援
 これまでの実績（県内累計34頭導入うち3頭死亡）
- | | | |
|---------|---------|---------|
| H24年度1頭 | H25年度6頭 | H26年度5頭 |
| H27年度5頭 | H28年度6頭 | H29年度3頭 |
| H30年度2頭 | R1年度3頭 | R2年度1頭 |
| R3年度2頭 | R4年度0頭 | |

【令和5年度の取り組み】

- ・「鳥獣被害ゼロ集落」のモデル育成
- ・モンキードッグの導入支援
- ・鳥獣被害対策強化月間における対策の実施



サル被害対策研修会
 （被害ゼロ集落の育成）



サル追い払い活動研修会
 （被害ゼロ集落の育成）



生息環境管理活動
 （被害ゼロ集落の育成）



犬の訓練
 （モンキードッグの導入支援）

野生鳥獣による農作物被害の推移

年度	被害状況（面積：金額）	
平成21年度	78.2ha	102,351千円
平成22年度	102.4ha	155,905千円
平成23年度	78.4ha	128,733千円
平成24年度	84.3ha	131,880千円
平成25年度	70.6ha	119,112千円
平成26年度	71.0ha	113,451千円
平成27年度	75.6ha	122,663千円
平成28年度	64.6ha	112,598千円
平成29年度	62.9ha	111,484千円
平成30年度	46.7ha	103,206千円
令和元年度	51.2ha	94,446千円
令和2年度	56.7ha	91,024千円
令和3年度	32.0ha	91,055千円

工 ふるさと水と土指導員活動支援事業

(未来へ「つなぐ！」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

ふるさと水と土指導員が土地改良施設や農地の保全活動・農村地域の活性化を図るための交流行事等を実施した場合、その要した経費について10万円を上限に補助金として交付した。

事業実施期間 令和4年5月10日から令和5年3月末

市町村名	地区名	事業内容
吉野川市	美郷	荒廃農地を回避し景観美化を図り、人々の心の癒やしを得るため、美郷でのイベントに加え、年間を通じて「花(菜の花、れんげの花、アーモンドの花、高開の芝桜など)で応援」のキャッチフレーズで活動を行う。
	美郷	耕作放棄地を減らし、自然保護、地元ボランティアと地域外の方との交流を深めるため、花で町を活性化する。
美馬市	脇町	景観植物等による耕作放棄地や棚田を活用し、都市部との交流推進の取り組みを通じたイベントを実施し、地域住民活動の多様な展開を促進する。
勝浦町	坂本	自然エネルギーや小水力発電に親しみを持ってもらい、環境保全への理解を増やすため、小水力発電の勉強会やワークショップの開催や、本活動の広報誌の作成などを行う。(中止)
神山町	神領	農地や景観、文化を次世代に継承することを目的に、環境保全活動や、地元の子供や大人、都会の子供・大人がともに楽しむ田舎遊び体験教室(カトムシ採取、子供・大人の川遊び)を開催する。(新型コロナウイルスの影響により中止)
那賀町	延野	農業推進や地域の魅力発信、多世代交流など様々な面から地域の活性化に取り組むため、花畑を作る。また、エディブルフラワーを使ったクッキングワークショップを開催する。
	横石	耕作放棄地の草刈りなどの農地の保全活動を行うとともに、景観作物(れんげ等)を作付けるなど、地域の活性化につなげる。
美波町	木岐	地域内外住民との農業体験交流の場(かかしコンテスト)創設のためサツマイモを栽培するとともに、休耕田に、交流・ふれあいの場の創設として景観植物を植栽し、地域の景観保全と活性化に取り組む。
つるぎ町	一字	町内の地域住民が中心となり、しゃくなげ・つつじ・あじさいを植えることにより、環境を整備し地域の景観の活性化につなげる。



花の植栽による景観美化(吉野川市)



集落での農地保全活動の打合せ(那賀町)



れんげの播種作業(那賀町)



管理のできなくなった畑へ苗木の植え付け(吉野川市)



かかしコンテストの開催(美波町)



サツマイモ苗の植付け(美波町)



孔雀草の植え付け(那賀町)



エディブルフラワーのクッキングワークショップ(那賀町)



花苗木の植え付け(つるぎ町)

**オ あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業
（未来へつなぐ！）農山漁村（ふるさと）元気づくり事業**

農山漁村地域の魅力向上や住民主体の課題解決力の向上を目的とした「魅力向上・地方創生のモデル」づくりを行うため、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から早期実現までを「パッケージ」として支援する。

【取り組み内容】

○農山漁村の活性化に取り組もうとする地域へ、外部講師等の専門員を派遣し、住民主体の「ワークショップ」（体験型講座）を開催し、住民の実行計画である「魅力創生ビジョン」を作成した。

【令和4年度の実施地区】

牟岐町(内妻地区)



ワークショップ風景

実施年度	実施地区	実施内容	実施状況															
			計画	実施	進捗	達成	未達成	中止	見直し	その他	備考	担当者	連絡先					
1	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	牟岐町(内妻地区)	魅力創生ワークショップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

魅力創生ビジョン作成

【棚田の保全・活用の取組支援】

県内の棚田地域について、棚田の保全・活用の取組を公募し、支援を行った。

○「棚田保全活用タイプ」評価委員会

日 時：令和4年6月17日（金）

場 所：県庁6階601会議室

棚田名	実施事業名
吉野川市美郷「高開の石積み」	「にほんの里100選「高開石積み」保全と活用」
上勝町「八重地の棚田」	「にほんの里100選「八重地の棚田」における茅葺き民家を拠点とした棚田保全活用事業」
上勝町「八重地・市宇・田野々・榎原・野尻・府殿の棚田」	「上勝町の棚田学習での学校と地域の連携プログラム」
上勝町「榎原の棚田」	「榎原の棚田でキッズSDGs棚田学習オンライン&リアル交流プログラム」
上勝町「田野々の棚田」	「新たな棚田アクティビティ創出・棚田電動キックボード人材育成」



高開石積みの修復作業



八重地の棚田の
草取り作業



学校と地域の連携



オンラインしめ縄づくり



電動キックボード指導者育成研修

**か とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業
(未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)
元気づくり事業)**

社会貢献に積極的な「企業・大学・NPO法人等」協働パートナーの協力を得て、農作業や地域コミュニティ活動など、農山漁村地域の保全・活性化を図った。

現在、81団体と「協働パートナー協定」をしている。

【農山漁村(ふるさと)協働パートナー協定締結式】

日時 令和5年1月31日(火)
場所 県庁3階 特別応接室
内容 協働パートナー協定締結(3団体)

<新規協働パートナー団体>

H22: 8団体 H23:10団体 H24:11団体 H25:10団体
H26: 7団体 H27: 6団体 H28:4団体 H29:7団体
H30: 5団体 R1: 3団体 R2: 3団体 R3: 4団体
R4: 3団体

※協定締結81団体(うち6団体現在未継続)

【R4年度活動実績】(令和5年2月末時点)

- 活動日数 20日間
- 活動した農山漁村 8地域
- 主な活動内容
 - ・地域の環境保全活動
 - ・地域イベント支援
 - ・農村舞台運営の支援
 - ・ハッサクの収穫

【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊交流会】

日時: 令和5年3月16日(木)
場所: 徳島市内
内容 (1)団体紹介(ふるさと団体 13団体
協働パートナー 13団体)
(2)ふるさと団体・協働パートナーによる個別対話
(3)意見交換 など

**【とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業
協働活動調整・活性化業務】**

公募型プロポーザルにより委託業者を選定し、協働活動実施に係る調整業務を委託するとともに、協働活動をより魅力的なものへ磨き上げることで、地域のファンになり、協働活動に積極的に参加する仕組みづくりに取り組んだ。

- ・委託業者 株式会社あわわ
- ・協働活動活性化業務
 - NPO法人吉野川に生きる会(吉野川市)
 - 出羽島を考える会(牟岐町)
 - 木岐奥次世代会議(美波町)



草刈り・植樹作業



石積みの保全活動
(吉野川市美郷)



きのこ植菌作業
(三好市池田町)



ひな祭りイベント準備作業
(勝浦郡生名)



農村舞台運営の支援
(東みよし町法市)



八朔収穫作業
(美馬市穴吹町)



応援し隊交流会
団体紹介



応援し隊交流会
個別対話

キ とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

①とくしま棚田ネットワーク

県内の棚田保全活動団体等と県及び市町村により、「棚田ネットワーク」を設立。各団体間の連携と情報共有を図るとともに、各地の魅力や棚田ネットワーク構成団体の活動情報を一元的に情報発信している。

総 会：令和4年11月7日（金）徳島市内
事業報告、事業計画、講演、発表、意見交換等

会 員：県、関係市町村、中国四国農政局徳島県拠点、
徳島県土地改良事業団体連合会、
徳島県農業会議、棚田保全に係る団体、NPO法人、
徳島県ふるさと水と土指導員、学識経験者

②とくしまの農山漁村ホームページ

農山漁村地域への支援事業や、とくしま棚田ネットワーク構成団体の活動内容を情報発信する。

③中山間地域魅力発見フォトコンテスト

中山間地域の魅力ある写真を通じて、ふるさと徳島を広くPRするため、第16回となる「とくしまの中山間地域魅力発見フォトコンテスト」を開催した。

50点の応募の中から10点（つなぐ棚田遺産部門5点、中山間部門5点）の優秀賞を選定し、今後、各種パンフレットやホームページで紹介、また、県庁すだちくんテラスでの写真展示やビジネスチャレンジメッセ等で広くPRを図った。

④徳島発！輝くむらのたから展開事業

県内各地の特徴ある豊かな「農林水産業」や、それにまつわる伝統的な「食」、「景観」、「伝統行事」などの「むらのたから」を活用した農山漁村の体験交流や観光の促進に取り組む地域をH30、R1年度にかけて9地域認定した。

【認定地域】

- ・内野地域（東みよし町）
- ・善入寺島地域（吉野川市）
- ・上勝地域（上勝町）
- ・有瀬地域（三好市西祖谷山村）
- ・和田島地域（小松島市）
- ・湊名地域（美馬市穴吹町）
- ・美郷地域（吉野川市）
- ・木頭地域（那賀町）
- ・上板地域（上板町）

R2年度までに9地域のVRプロモーション映像を作成しており、Youtubeにて公開中。R4年度は、「徳島ビジネスチャレンジメッセ」や首都圏で開催された移住交流相談会「四国ぐらしフェア」でVR体験やパンフレット配布を行った。



徳島の棚田ネットワーク



棚田ネットワーク

フォトコンテスト応募作品



有瀬地域



上板地域



和田島地域

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(1) 保全ネットワーク推進事業

棚田地域等保全対策事業

棚田地域への理解促進を図る。

とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の力のとおり。

とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のキのとおり。

(2) 保全活動推進事業

ふるさと水と土指導員活動支援事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)の工のとおり。

あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業 (未来へ「つなぐ!」農山漁村(ふるさと)元気づくり事業)

1の(3)のオのとおり。

3 令和5年度の事業計画について

令和5年度計画（案）

1 中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1) 調査研究 事業費		(円) 3,000,000
	中山間むらづくり調査事業	3,000,000
(2) 研修事業		770,000
	ふるさと水と土指導員全国研修派遣	335,000
	ふるさと水と土指導員県内研修	435,000
(3) 推進事業		12,500,000
	ふるさと水と土保全対策懇話会	137,000
	農林漁業体験推進事業	773,000
	鳥獣被害予防推進事業	6,000,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	5,160,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,200,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(1,000,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(2,750,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(210,000)
	啓発推進事業	430,000
合 計		16,270,000

2 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業区分	事業名	予算額(案)
(1) 保全ネット ワーク推進 事業		(円) 3,687,000
	棚田地域等保全対策事業	477,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	3,210,000
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業	(2,750,000)
	（うち）とくしま農山漁村(ふるさと)ネットワーク事業	(460,000)
(2) 保全活動 推進事業		5,300,000
	未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村(ふるさと)元気づくり事業	5,300,000
	（うち）ふるさと水と土指導員活動支援事業	(1,300,000)
	（うち）あわの農山漁村(ふるさと)魅力創生事業	(400,000)
合 計		8,987,000

令和5年度計画（案）
中山間ふるさと・水と土保全対策事業
中山間ふるさと・水と土保全推進事業

○主な事業内容

1 未来へ「つなぐ！」あわの農山漁村（ふるさと）元気づくり事業

(1) ふるさと水と土指導員活動支援事業

「ふるさと水と土指導員」の行う活動に加え、新たな指導員を育成するため、指導員が指導員希望者を支援して共に行う地域活性化活動も対象に追加する。

また、指導員同士の連携や交流拡大に係る経費についても追加対象とする。

(2) とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業

コロナ禍で活動を休止した「ふるさと団体」に活動再開の働きかけを実施するとともに、新たな「ふるさと団体」の掘り起こしに向け、市町村とも情報を共有し、個別訪問を実施する。

新規の「協働パートナー」の獲得に向け、サテライトオフィス進出企業等に働きかけを実施する。

また、「ふるさと団体」と「協働パートナー」の理解を深めるための交流会を開催し、新たな交流による地域のさらなる活性化を目指す。

(3) あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業

ビジョンの策定については、「農村RMO」の設立に向けての事業計画の作成に特化して支援を実施する。

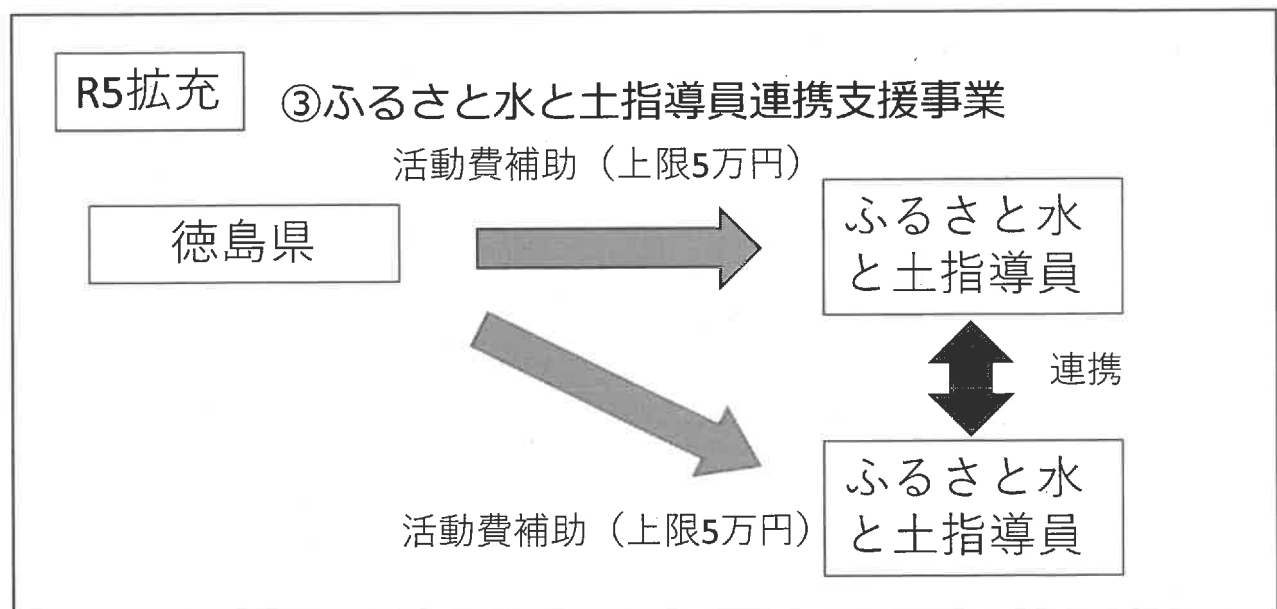
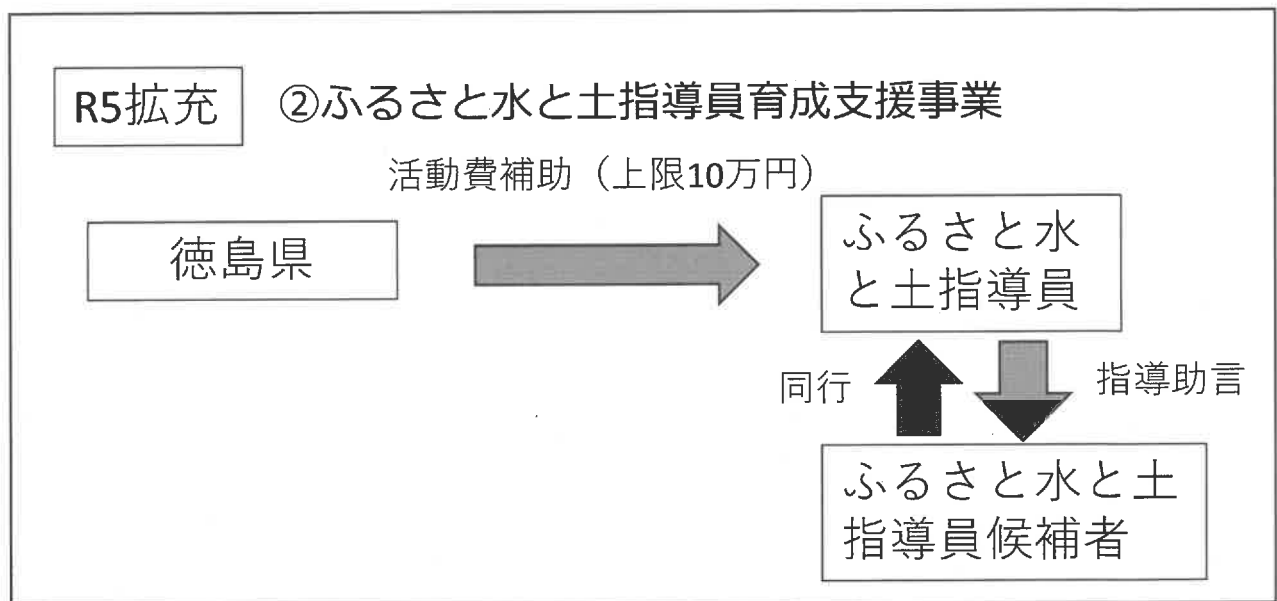
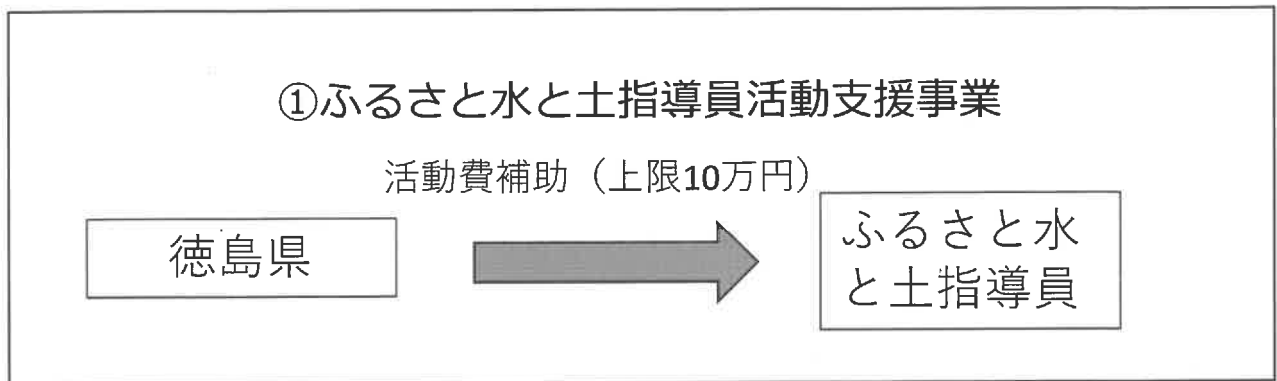
ビジョン策定地区における「ビジョンの早期実現支援」、棚田地域における棚田の保全・活用の取組については引き続き支援を実施する。

(4) とくしま農山漁村（ふるさと）ネットワーク事業

「とくしま棚田ネットワーク」の構成員間の連携・協力を促進するとともに、県ホームページ「とくしまの農山漁村」の内容の充実を図る。

SNSのアカウントを新規取得し、応援し隊の活動や「むらのたから」の情報発信を実施する。また、「中山間魅力発見フォトコンテスト」をSNS上で実施することで、幅広い層に農山漁村の魅力を発信する。

ふるさと水と土指導員活動支援事業



徳島県ふるさと水と土指導員

中山間地域における、農地や土地改良施設の有する多面的機能、これらによって保全されてきた「水と土」を評価し、将来にわたってこれらを保全・整備していく地域住民の協働活動を支援することを目的として、「中山間ふるさと・水と土基金」を積み立て、この運用益で「中山間ふるさと水と土保全対策事業」を実施しています。

この事業の一環として、地域の活性化に理解と熱意を持って取り組み、地域住民の人望が厚い方を市町村長から推薦していただき、「ふるさと水と土指導員」として任命しています。

徳島県ふるさと水と土指導員活動支援事業

目的

土地改良施設や農地等の保全及び農村地域の活性化の推進に資することを目的として、徳島県ふるさと水と土指導員が行う活動に係る経費について、予算の範囲内で指導員に対して補助金を交付する。

①ふるさと水と土指導員活動支援事業（定額：上限10万円）

指導員が中心となって実施する活動

（例）

- ・ 土地改良施設や農地等の保全推進
農道等の周辺整備、棚田の保全、耕作放棄地への花の植付けなど
- ・ 農山漁村地域の活性化の推進
伝統文化の維持活動、地域特産品の振興、都市と農村の交流事業
- ・ 地域保全活性化のための調査研究
鳥獣害防止対策の調査研究、小中学生等を対象とする環境学習等

②ふるさと水と土指導員育成支援事業（定額：上限10万円）拡充

新たな指導員候補者の育成のために、指導員候補者を同行させて実施する活動

- ・ ①の活動を指導員候補者を同行させて実施する

③ふるさと水と土指導員活動連携支援事業（定額：上限5万円）拡充

複数の指導員同士が連携して実施する活動

- ・ 指導員同士が連携して実施する地域住民等を対象とした研修会等の開催に必要な経費を支援

農村RMO（農村型地域運営組織）って何？

県内の中山間地域では、過疎化、少子高齢化による人口減少が進行し、集落機能（農地の保全、諸行事の運営、高齢者の移送手段、小中学校の維持など）の将来に課題を抱えています。

これらの課題解決の手段として、全国において「**農村RMO（農村型地域運営組織）**」の設立と取組が進んでおります。

このリーフレットでは、取組の概要や設立に向けた手順、補助制度を紹介します。



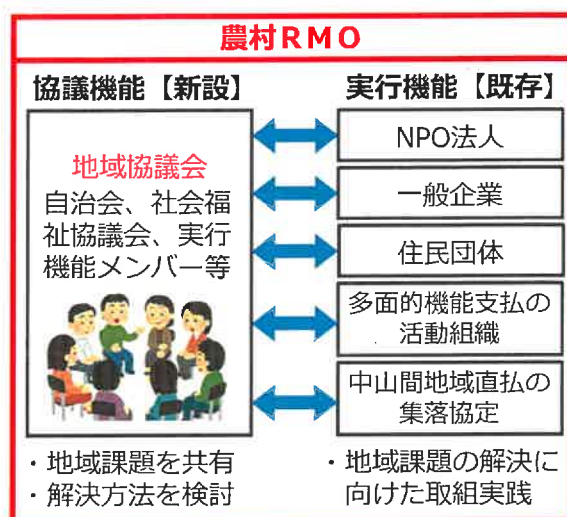
1. 農村RMOとは？

- 中山間地域の小学校区～旧市町村程度のエリアにおいて、

「**農用地の保全**」
「**地域資源の活用**」
「**生活支援**」

などに関する地域課題をとりまとめ、解決に向けて必要な取組を一体的に調整、実行する組織です。

- 組織のメンバーは、地域内の住民、法人や自治会などで構成されます。



農村RMOの組織構成例

2. 農村RMOの取組事例

農用地の保全	地域資源の活用	生活支援
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間直支払交付金や多面的機能支払交付金の活動実施、既存組織への事務支援 ・ 耕作放棄地の復旧－活用 ・ 鳥獣被害対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物の集出荷管理 ・ 農泊の推進 ・ 六次産業化の取組推進 ・ 空き店舗の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動支援（買い物、通院、通学等のデマンドバスの運行） ・ 農産物の出荷支援 ・ 高齢者の生きがい創出 ・ 見守りサービス
<p>リモコン草刈機による農用地の維持管理</p> <p>立寄ふるさと農園 運営期間：10月1日～11月30日 運営主体：三行政区ふるさと地産地消会</p> <p>耕作放棄地を活用した福祉農園</p>	<p>六次化の取組</p> <p>空き店舗活用（産直市）</p>	<p>買い物難民支援</p> <p>移動支援</p>

※ これらの取組について、組織を作り、実践してみたいという地域に対し、「モデル支援」として、令和5年度から県の助成制度を開始します（上限1,000万円/年×最大3年間）。

3. 取組の進め方 (補助制度の実施手順)

① 勉強会の開催¹⁾

「農村RMOって何?」「どんなことができるの?」といった疑問や、住民各自の地域課題に対する認識はそれぞれ違います。

このため、まずは地域内の団体や住民を対象とした勉強会を開催し、取組への関心の喚起、問題意識の共有を図ります。



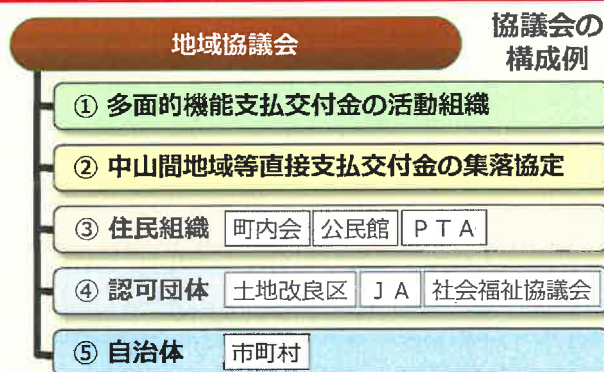
② アンケート、ワークショップの実施²⁾

団体や住民各自の持っている課題をとりまとめ、課題解決の優先順位や解決手法の提案、取組の役割を相談し、地域内の合意形成を図っていきます。



③ 地域協議会の設立、計画策定

地域の実情や熟度に応じ、②で決めた取組の役割分担に基づいたメンバーを選定し、「地域協議会」を設立します。併せて、3年間の活動計画と課題解決に向けた取組の目標を決定します。



④ 活動の実践

②・③で取りまとめた活動計画に基づき、課題解決に向けた取組を実践します。(最大3年間)。



農用地の保全

移動支援



⑤ 法人化、「農村RMO」としての活動の継続³⁾

実践活動の終了後、法人化を検討し、正式に「農村RMO」として各種取組を継続していきます。



- 1) 随時講師派遣の相談を承っております。
- 2) **県の助成制度は②～④の取組に必要な経費が対象**となります。協議会事務局の人件費の支出も行えます。
- 3) 別途国の支援制度の活用も可能です。

お問い合わせ先

徳島県 農山漁村振興課
振興・創生担当
電話番号：088-621-2436



ふるさと応援すだちくん